

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日中環境保護推進のための経費		担当部局庁	アジア大洋州局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度開始		担当課室	中国・モンゴル課		課長 石川 浩司		
会計区分	一般会計		施策名	I-1 アジア大洋州地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省組織令第41条		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	環境協力は日中外交の重点分野であり、2007年4月の温家宝中国総理の訪日の際に「環境保護協力の一層の強化に関する共同声明」が発表された他、その後も首脳会談において環境・省エネ分野の協力が確認されている。本事業では、日中間の環境協力を促進するため、年1回日中の関係省庁の参加をえて日中環境保護合同委員会を開催し、両国間の環境・省エネ分野の問題について理解を深めながら、戦略的互惠関係の具体的な協力を結びつけていく。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日中環境保護合同委員会においては、渤海、黄海区域及び長江流域等重要な水域における水質汚濁防止、循環型社会の構築、大気汚染防止、気候変動対策、海洋漂流ごみ防止、酸性雨及び黄砂対策等日中の協力・課題分野について踏み込んだ意見交換を行いながら、協力の促進、問題への対処をはかり。関係各省が一堂に会する機会なので、それぞれが実施している協力をより有機的に結びつけて日中協力の成果としていく。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0.9	1	1	0.7	0.9	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	0.9	1	1	0.7	0.9	
	執行額	0.25	0	0.9				
	執行率(%)	25%	0	90%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	日中が直面する省エネ・環境分野の課題について、関係各省出席の下、協力の促進、問題への対処をはかることで、日中協力の重点分野である環境・省エネ分野の協力を促進していくもの。1回の会議において10数分野もの幅広い協力について協議が行われる。			分野	12	0	11	12
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	日中環境保護合同委員会は、基本的に年1回、日中で交互開催している。会議の成果は、首脳会談の合意事項になるなど、ハイレベルでも確認されている。			回	1	0	1	() ()
単位当たりコスト	1回当たり・34万円		算出根拠	20, 22年度の執行額÷回数				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	旅費	711	761					
	会議費	0	167					
	計	711	928					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	-	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	引き続き、成果目標の達成に向けて、本事業を継続していく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	-		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	出張旅費個人(3名分)	0.9			
計		0.9	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員(A)	日当・宿泊料／航空賃	0.3	—	—
2	職員(B)	日当・宿泊料／航空賃	0.3	—	—
3	職員(C)	日当・宿泊料／航空賃	0.3	—	—
4					